

2021年度 基礎研修Ⅲ

【地域開発・政策系科目Ⅰ 中間課題について】

中間課題：基礎研修Ⅲワークブック P108～P113

課題① ヒアリングシートの記入

課題② ヒアリングシートをもとに、企画シートの作成
(事後課題の欄は空欄にしておいてください)

提出締切：2021年12月17日(金)

提出先：kensyu-kadai@hacsw.or.jp

★件名に「基礎Ⅲ12/17提出課題」とご記入ください。

★添付する課題には、必ず受講者番号・お名前をご記載ください。

★課題を作成する際に、ファイル名は「受講者番号+お名前」としてください。

入力例：受講者番号20203001福祉太郎さんが提出する場合

「20203001福祉太郎」と入力してください。

- ・当日はZOOM研修となるため、課題を6部印刷の必要はありません。
- ・中間課題の提出がない場合は、

オンライン研修⑧1月8日の講義出席は認められません。

※課題書式は、兵庫県社会福祉士会ホームページに掲載します。

<中間課題>

- ① あなたが現在、支援している利用者、あるいは過去に支援していた利用者を想定しながら、ヒアリングシートを記入してください。

- ② ①で作成したヒアリングシートをもとに、企画シートを作成してください。その際、下段にある事後課題の欄は空欄のままにしてください。

【課題作成時の留意点】

- ・ この課題の提出がないと、「地域の課題の解決に向けた具体策について」のオンライン研修は受講できません。(オンライン研修⑧1月8日)
- ・ これまで利用者の支援に携わった経験がない方、実際の利用者では想定が難しい方は、あなたの家族や周囲の人を想定してください。
- ・ ヒアリングシートの項目は、1日目の講義や演習を踏まえ、各自で増やしていただいて構いません。増やした項目については、シートを各自作成して最後のページに添えてください。
- ・ 企画シートを作成する際には、ヒアリングシート作成時に想定した利用者が生活する地域を想定してください。地域の規模は問いません。

受講者番号

氏名

地域生活支援のためのヒアリングシート

(1)利用者が参加・所属している地域組織または参加したがつている組織について

組織の名前は？	
どの程度の「参加」か？	
参加しやすい条件整備がなされているか？	
どういう条件を整えば、もっと参加しやすくなるか？	

<注>自治会・趣味グループ・学校・ファンクラブ・生涯学習グループ・
各種〈連続〉講座・ボランティアグループ

(2)利用者の交友相手〈友達〉について

どんな関係の人	
利用者の資源になりうるか	
どうしたら資源になるか。	

<注>井戸端会議の相手・同窓生・趣味友達・講座友達・級友・

(3)利用者が所属している当事者組織について

どんな組織に属している	
利用者同士の問題解決のために十分機能しているか。	
もっと機能するためには、どうい う支援が必要か。	
利用者はどんな役割を果たしたら いいか。	
その組織は利用者にとってどん な意味があるか。	

受講者番号 _____ 氏名 _____

(4)利用者に（福祉的に）関わっている人や組織・企業〈商店〉・隣人について

どんな関わりをしてくれているか。	
もっとすすんだ関わりをしてもらうには、どんな条件が整備されたらいいのか	
こちらとしてどんな努力をしたらいいか〈どんな仕掛けを施したらいいか〉。	

<注>行きつけの商店の主が、店頭で親切にしてくれる程度でもいい。

(5)利用者が見込んでいる相手〈相談に乗ってくれたり、困った時助けてくれる人〉
行きつけの商店・診療所の医師・隣人について

その利用者が見込む相手はどういう条件があるのか。	
利用者が見込んでいる人が、見込まれたことをきちんとしているか。	
していないとすれば、それはなぜか。	
見込まれたことをその人が実行するには、どういう働き掛けが必要なのか。	

<注>なぜその人を見込んでいるのか。

(6)利用者の親族で、利用者が頼みにしている相手について

その相手は、利用者の期待に添うように行動しているか。	
していないとすればそれはなぜか。	
どうしたら期待に添うように行動するようになるか。	
他の親族はなぜ頼りにならないのか。	
どうしたらもっと頼りになる親族になるのか。	

受講者番号 _____ 氏名 _____

(7)利用者の〈これから戻る〉近隣は、利用者にとっていい近隣か。

どのように頼りになるか。	
どのように頼りにならないか。	
どんな人材が存在しているか〈世話焼き・ロ利き・など〉	
もっと頼りになる近隣にするにはどうしたらいいか。	

(8)利用者の周囲で、活用できそうな福祉資源はあるか。

どんな資源が分布しているか〈いわゆるボランティアや民生委員、福祉推進員だけでなく、世話焼きさんや、保健福祉のプロ、各種公共機関なども〉。	
それぞれどんな資源性を持っているか。	
それぞれ利用者にどんな資源になりうると思うか。	
それらの資源を利用者に振り向けるにはどんな仕掛けが必要か。	
それぞれがより強力な資源になるには、どんな仕掛けが必要か。	

(9)利用者にとって「隠れた資源」となっているもの〈利用者を元気にさせているもの〉について

あるとすればそれは何か。	
--------------	--

<注>特に動植物や自然環境、日常生活の各種グッズ、遊び・スポーツなど、人間以外の資源に着目。

(10)利用者は地域に対して、どんな資源性を有しているか。

資源性とそれが機能している対象を羅列。	
利用者が頼りにしている相手に対して、どんな資源性を発揮しているか。	
利用者が潜在的に有している資源性は何と何か。	
それぞれ誰に対して資源となりうるか。	

受講者番号

氏名

利用者の資源力を増強させるには、どんな支援が必要か。	
----------------------------	--

<注>隣人の相談相手、同じハンディを持った人の相談相手、趣味グループなどで、ユニークな働きをしている、など。

(11)利用者にとっての資源同士のネットワークの状況はどうか。

これまで挙げられた資源相互の連絡はどの程度なされているようか。お互い〈資源同士〉、その利用者に関わっていることをどの程度承知しているようであるか。	
もっときちんとネットワークができるためには、どんな支援が必要か。	

(12)利用者の自宅〈居住場所〉は、

資源を発掘・活用するのにどのように適しているか、または適していないか。	
より多くの資源を発掘・活用するために、どんな環境整備が必要か。〈利用者のセルフケアマネジメント能力の開発。自宅の改造。支援者の確保。資金援助など〉	

(13)利用者のセルフケアマネジメント能力〈自分の状態を正確に把握・ハンディの中身も客観的に把握・その克服策の工夫・必要な資源を発掘・活用する資質等〉の評価をしてみよう。

セルフケアマネジメント能力の評価	
------------------	--

<注>人に好かれる〈人が寄って来る〉・自分も人が好き・人の好き嫌いが無い・困ったら困ったと言える・だれにも気軽に助けを求められることができる・助け手を上手に探し出す・お礼の言い方・仕方も上手・人間関係に長けている。自分もお返しができる・自分の〈他人に〉できることを上手に生かす・自分の意思をきちんと伝えられる・コミュニケーション手段を持っているし使える・どこへでも気軽に出かける・人を呼び込む場〈空間〉を確保している・セルフケアマネジメントのための支援者〈秘書?〉を確保しているなど。

企画タイトル _____

①計画作成時 (月 日記入)

氏名 _____

中間課題

②報告会実施後の修正 (月 日記入)

受講者番号: _____

①地域の生活課題や福祉ニーズの解決のための計画

現状分析 ①対象地域の現状、数値的データ等

取り組み(事業)内容[予定] ①計画内容

個別課題 ①地域における個別課題

ネットワークの内容[予定]

メンバー ①予定しているメンバー

スケジュール・手順 ① 予想スケジュール・手順

活用ツール(モノ、カネ) ①計画時に予定しているツール

ねらい ①ネットワーク構築の取り組み(事業)のコンセプト

効果 ①期待する効果

② 事後課題

具体策 ①地域の課題解決に向けた具体策について(500字)

自組織の課題 ②自組織に求められている課題(1200-1500字)